

日立ソリューションズ

日立国際電気グループが情報・知識共有基盤「InWeave」を導入 ～社員間での業務知識やノウハウの共有とコミュニケーションの活性化を実現～

日立国際電気（所在地：東京都千代田区）は、本社、工場、支社およびグループ各社の約4,600名の社員が利用する社内SNSに、日立ソリューションズの情報・知識共有基盤「InWeave（インウィーブ）」を導入した。導入後1年が経過し、日立国際電気グループでは、社内SNSの利用が定着したことで、業務知識やノウハウの共有と組織や役職を越えた社内コミュニケーションの活性化を図ることができている。

日立国際電気は、2000年10月に日立グループ内の3社が合併して発足し、2009年8月から「お客様視点ですべてを見直し自ら改革」をテーマに、グループ一体でイノベーション活動に取り組んでいる。そのような中、日立国際電気は、グループ内の組織や役職を越えた社内コミュニケーションの一層の活性化や、業務知識やノウハウの共有化を図るため、利便性の良いネットワーク基盤の導入を検討してきた。

このような背景の下、日立国際電気は、限られたメンバーが日誌などの業務テンプレートを利用し、業務情報を共有する機能や、複数のメンバーで1つの記事を共同で編集する機能、アンケートを作成する機能などを備えた日立ソリューションズのInWeaveを導入した。日立ソリューションズは、InWeaveの導入にあたり、イントラネットと同一のIDとパスワードが利用できるようにログイン時のシングルサインオンを実現し、社員の利便性を向上した。また、自社で利用してきた経験を活かし、一部のユーザーによる先行運用や社員向けの事前講習会の実施などを行い、円滑な本番稼働を実現した。

InWeaveの特長は次のとおり。

- ・ SNS、ビジネスログ機能を用いて、所属するコミュニティや従業員間での業務ナレッジやノウハウを蓄積

し、情報共有をセキュアにサポート。

- ・ SNS、ビジネスログ、wikiに蓄積された情報から、利用者に最適なおすすめの記事や注目語を表示でき、情報を有効活用できるようにサポート。
- ・ ビジネスログやコミュニティに組織階層や個人を特定した、きめ細かいアクセス権を設定できる。

日立国際電気では、InWeaveを導入後、以下の効果が出ている。

◆限定したメンバー間での業務知識やノウハウを共有：公開範囲を限定し、ソーシャルネットワークに不慣れな社員でも安心して利用できるセキュアな環境で、業務知識やノウハウ、イノベーション活動の進捗などを共有することができた。管理者がトピックスごとに部門やプロジェクトメンバーなどの公開範囲を設定したり、業務テンプレートを作成したりできる「ビジネスログ機能」を活用している。

◆組織や役職を越えたコミュニケーションを活性化：社長が定期的に日記を公開し、経営方針の浸透を図っている。また、社長の日記に対して、若手の社員がコメントをするなど、組織や役職を越えた社内のコミュニケーション活性化を実現している。

今後、日立ソリューションズは、日立国際電気の社員がInWeave上でマニュアルを閲覧し、操作方法を容易に検索できるようにする予定だ。また、海外のグループ会社を含めた全社員約5,500名の利用を目指している。

日立ソリューションズ

お問い合わせ先：<https://www.hitachi-solutions.co.jp/inquiry/>